

Angel's Voice

豊かな礼拝の器

パイプオルガン委員長
司祭 ダビデ 林 和広

っしゃるとは思いますが、このような楽器に触れるという

環境、空間があることは幸いなことであると
感じた次第でした。

パイプオルガンとの出会い

今年度よりパイプオルガン委員会に加えて
頂くことになりました。宜しくお願い致します。

私の洗礼名は豎琴の名手であり、詩篇の多く
には彼の名前が記されているダビデですが、私
自身、楽器を奏でる腕もなく、歌詞を書くよう
な素養もありません。幼少の頃から音楽を聴く
ことは大好きで、音楽を奏でることへの憧れを
抱いておりましたが、結局、音楽を習うことも
なく、違う方向へと自分の人生は流れていきま
した。

初めてパイプオルガンの音色を生で聴いた
のは京都のウィリアムス神学館の入学式が行
われた聖アグネス主教座聖堂でありましたが、
その後、英国留学先であった修道院の礼拝堂に
もパイプオルガンが設置されており、日々、修
道司祭、修道士、他の神学生と共に礼拝の中
でパイプオルガンの音色に包まれて歌うとい
う生活を送りました。地方の小さな教会出身者
にとっては馴染みのない空間であり、最初は
その雰囲気にも飲まれるだけでありましたが、
しばらく生活していくうちにその音色に馴染
んでいくようになりました。その音色はある
時は心が鼓舞され喜びを与えるものであり、
不安や悲しみの中では癒しを与えてくれる
ものでした。

留学先では修道司祭を始め、幾人かの神学
生が礼拝での奏楽者として携わっておりました。
どうしてそんなに弾けるのか？と聞くと「小
さな頃から触れていたから」というコメント
がほとんど……。日本でもそのような方々はい

神の賛美する器として

「礼拝学に精通している司式者と音楽に精
通している奏楽者との間の軋轢に困惑してい
る・・・」「豊かな礼拝とは何か？」「どのよ
うにすれば礼拝が豊かで意味あるものとなる
のか？」これらは昨年、出席した聖公会東ア
ジア礼拝ネットワーク東京総会でのあるセッ
ションでのコメントです。他管区からの代表
者による切実な声でありました。

私は礼拝学者ではありません。勉強中の身
であります。そのような知識もあり、素養も
ある人にとっては譲れないこだわりもあるの
だろうという意見などもありました。雑感も
含め、色々と意見交換を行いました。分かち
合いを通して、司式者とは礼拝の主宰者であ
るという理解は誤りではないにしても、司式
者は奏楽者を含め、他の奉仕者たちを支配し
、従属させるものではないこと、同様に礼拝
の中での音楽、奏楽者は極めて重要なツール
であるけれども、他の奉仕者と等しいもので
あるということを変更して再確認しました。相
互にその重要性を認めつつ、常にコミュニケ
ーションを取りながら、賜物を活かしながら
神への感謝・賛美の礼拝を捧げていくこと、
これが豊かな礼拝となるために必要不可欠
であることを確認しました。

パイプオルガンについて勉強中でありま
す。パイプオルガンの魅力、豊かさという
ものを知りたいと思います。同時に、多く
の人々、特に若い世代の人々がパイプオル
ガンに触れ、次世代を担う奉仕者が召され
るように祈りつつ、そのような空間、機会
を提供することができれば

幸いであります。

(文責：埜田)

第5回定期コンサート～光に照らされて～ アンケート報告

2018年11月10日(土) 聖ミカエル大聖堂で定期オルガンコンサートが開催されました。約100名の方がお越し下さり、辻彩乃氏によるオルガンと内海由美子氏によるメゾソプラノの演奏に耳を傾けました。また、みんなで歌うプログラムも好評でした。当日はオルガン維持の為、59,640円の献金が捧げられました。

詳しいレポートは教区報「神のおとずれ」1月号に掲載されましたので、今回はアンケートで寄せられた声をご紹介します。

- ◇演奏者の技術はもちろん、選曲の素晴らしさに本当に光に照らされる思いだった。
- ◇聖歌を本格的に聴くのは初めてだったが、親しみのある曲想、聞き覚えがある感じだ。
- ◇バッハの素晴らしい音楽に触れ、大きな影響力を改めて感じた。
- ◇パイプオルガンの伴奏で歌ったのは初めてで、感激した。
- ◇音響効果が非常によく、コンサートに相応しく、穏やかな気持ちになった。
- ◇クラシックの声楽曲を聴く機会が減多にないので新鮮だった。
- ◇教会にとってパイプオルガンはなくてはならないもの。微力ながら維持のため協力していきたい。
- ◇演奏の合間に説明が入り、解りやすかった。
- ◇オルガンの音色は、低音域から高音域まで共通して聴く者ものを包み込むような柔らかさに特徴があった。
- ◇聖歌476番「暗闇行くときには」の変奏曲を初めて聴いた。知っている曲とは思えない重々しい感じで、とても印象に残った。
- ◇教会に来たことがなかったので、コンサートがよいきっかけになった。

パイプオルガンの魅力を一人でも多くの方に知って頂けるようなコンサートを今後も企画していきたいと思っております。

教区聖歌隊、聖職按手式にて奉唱



2019年3月21日(木) 聖ミカエル大聖堂にて聖職按手式が行われ、デオヌシオ遠藤雅巳執事が司祭に、バルナバ永野拓也聖職候補生が執事に叙任されました。

教区聖歌隊は、礼拝の中で2曲を奉唱しました。1曲目 Mendelssohn 「Above all praise」はテノールから始まる華やかな曲で、高らかに神の栄光を賛美しました。2曲目は John Pantry 「すばらしい恵み」という日本語の曲でした。オルガンの音色に包まれるようにして、心を込めてキリスト・イエスの恵みを伝えました。

教区聖歌隊は、毎月2回、金曜夜19～21時に聖ミカエル大聖堂にて、喜多ゆり氏の指導の下で練習を行っています。主な活動は、教区礼拝や不定期で行っている「唱詠夕の礼拝」での奉唱です。新しいメンバーを随時募集していますので、ご興味のある方は、所属教会の牧師を通してぜひお問い合わせ下さい。練習の見学、体験のご希望大歓迎です。

(文責：埜田)



た。また聖歌だけでなく、チャントをどのように弾くべきかなどの質問も出ました。

先生からのご指導を一通り受けて、仕上げで弾くときに皆で聖歌を歌うのですが、人数がいつもより多いので、重厚な響きで気持ち良く歌うことができました。

神戸教区オルガンレッスン 聖ミカエル大聖堂を離れてのレッスン

神戸教区では毎月 1 回、基本的には日曜日の礼拝後に、聖ミカエル大聖堂で教区オルガニストの伊藤純子先生によるオルガンレッスンが行われています。受講生は神戸や明石にある教会のオルガニストが多いです。



神戸聖ペテロ教会でのレッスン風景



神戸聖ヨハネ教会でのレッスン風景

いつもは聖ミカエル大聖堂でのレッスンなので、「他の教会のオルガンも弾いてみたい」という声上がり、2月17日の礼拝後に神戸聖ヨハネ教会で、また3月15日は礼拝後ではなく、金曜日に神戸聖ペテロ教会でのレッスンが実現しました。

ここ最近のレッスンは決まったメンバーのみの受講が多かったのですが、両教会でのレッスンにはいつも受講されない方も参加されたので、普段より少し多い8名がレッスンを受け、とても活気のあるレッスンになりました。

レッスンの課題曲は聖歌（自分で選んだ曲）を弾くのですが、この時期のレッスンだったので、大斎節の聖歌を選んでいる方が多数いまし

次回のレッスンも聖ミカエル大聖堂ではなく、神戸国際大学で行われます。まだ奏楽をされたことのない方も、少しは弾けるけど足鍵盤は全く・・・という方も（私もそうです）、もちろん奏楽何十年のベテランの方も気軽にご参加いただきたいと思います。詳細は4ページをご覧ください。

（文責：福島）

<オルガンレッスン報告>

（2018年4月～2019年5月）

★教区レッスン

2018年

4月(5人) 5月(5人) 6月(7人)

7月(4人) 9月(4人) 10月(5人)

11月(4人)

2019年

1月(6人) 2月(8人) 3月(8人)

4月(5人)

★神戸聖ミカエル教会レッスン

2018年 4・5・6・7・9・10・11・12月

2019年 1・2・3・4・5月

★松蔭中学・高校レッスン

2018年

4月(5人) 5月(3人) 6月(5人)

10月(6人)

<行事報告>

(2018年4月～2019年5月)

★礼拝音楽研修会「歌いやすい伴奏をめざして」
2018年6月23日(土)10時～17時
実技・聴講・夕の礼拝(司式:八代 智司祭)
参加者30名

★唱詠夕の礼拝

2018年5月26日(土)18時

2018年10月13日(土)18時

司式:坪井 智司祭

奏楽:原田 里香子

奉唱:教区聖歌隊

★(一社)日本オルガニスト協会関西支部主催
オルガン特別講座

『みんなで学ぼう、バッハの「オルガン小曲集」』

2018年9月1日(土)13時～16時

講師:廣野 嗣雄氏

参加者約80名

★第5回定期オルガンコンサート

「光に照らされて」

2018年11月10日(土)14時～15時半

演奏:辻 彩乃氏、内海 由美子氏

参加者約100名

<行事予定>

～オルガンミニコンサートのご案内～

今年のコンサートは、6月と11月にミニコンサートという形でお届けします。日曜の昼下がりに、みなさまお誘い合わせの上、是非お越し下さい。

★初夏のオルガンミニコンサート

日時:6/16(日)14時～

場所:神戸聖ミカエル大聖堂

演奏:片桐聖子氏

(日本基督教団神戸教会オルガニスト)

予定曲目:

・A. ヴィヴァルディ/J. S. バッハ:協奏曲 イ短調

BWV593

・J. S. バッハ:小フーガ ト短調 BWV578

・J. S. バッハ:G線上のアリア 他

★秋のオルガンミニコンサート

日時:11/10(日)14時～

場所:神戸聖ミカエル大聖堂

演奏:伊藤純子氏

★教区オルガンレッスンのご案内

6月の教区オルガンレッスンは6/15(土)13時より神戸国際大学・諸聖徒礼拝堂にて行います。通常の拡大版とし、レッスンの後16時半より夕の礼拝を捧げます。レッスンのメンバー登録がまだの方も是非ご参加下さい。詳しくは各教会へ配布のご案内をご覧ください。

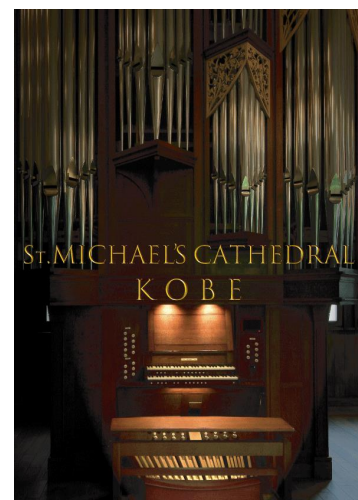
申し込み締め切りは6/9(日)、お問い合わせは教区事務所まで。

<お知らせ>

オルガンデザイン・クリアファイルが出来ました!

聖ミカエル大聖堂のパイプオルガンは、設置されて今年で6年になります。先日、聖ミカエル教会の主日礼拝を始め、教区、関係学校の礼拝行事、奏楽者のためのレッスン、コンサートや研修会等、用いられる機会も年々増え、礼拝の充実のみならず、教会以外の方々を対象にした活動も定着してまいりました。

この度、音色だけでなく姿も美しい聖ミカエル大聖堂のオルガン写真をデザインしたクリアファイルを作成しました。1部200円で販売し、売り上げはオルガン資金への献金とさせていただきます。「神戸教区のシンボルの一つ」としてオルガンを覚えてご購入下されれば幸いです。ご友人へのプレゼント等にもご利用ください。尚、サンプルと注文書は各教会にご送付しております。

**【編集後記】**

パイプオルガン委員会で前々から作成準備

をしていたクリアファイルがとうとうできました！とても素敵な仕上がりになっているので、是非ともお買い求めください♪